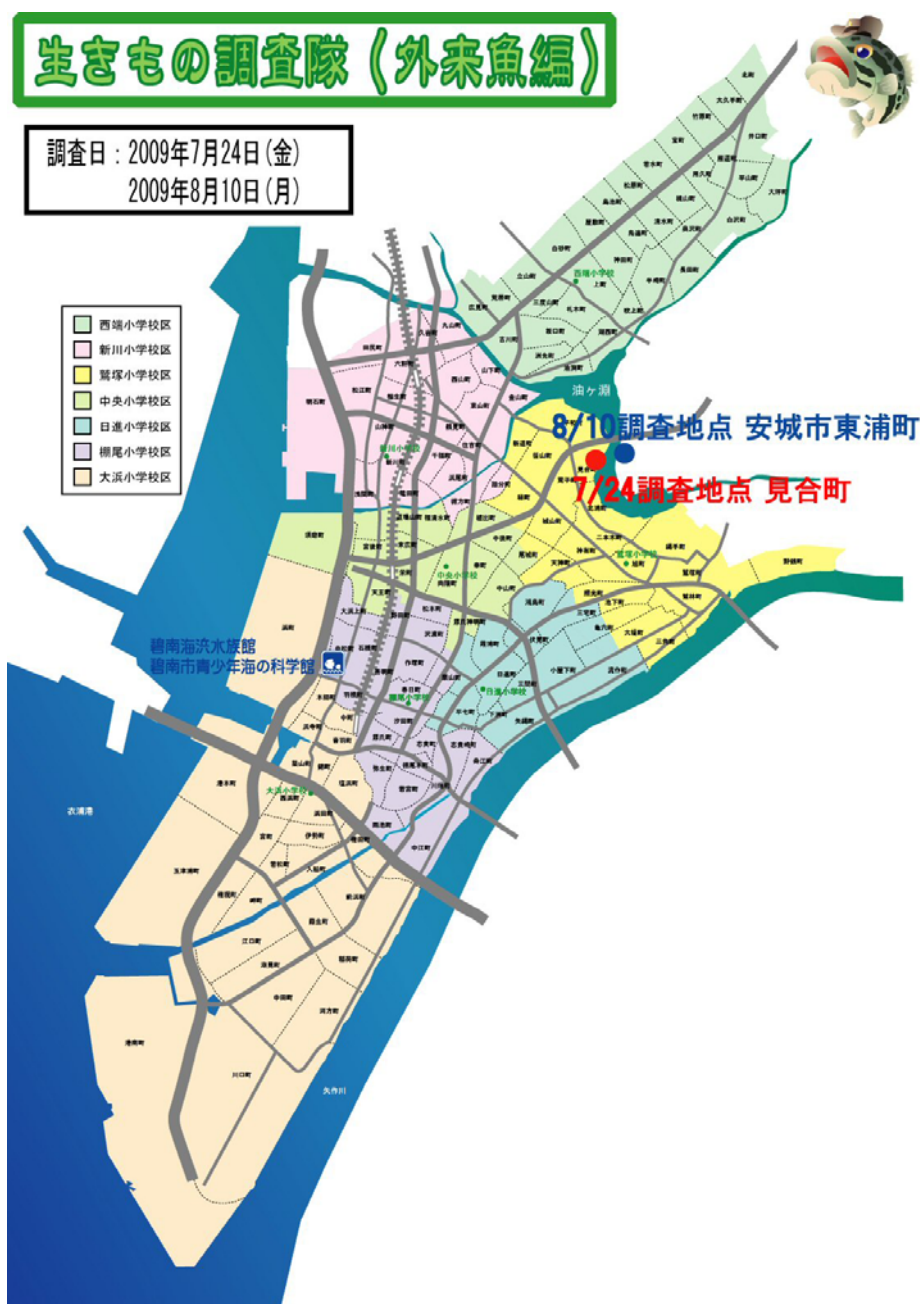


# サマースクールⅡ「生きもの調査隊（外来魚編）」が開催されました！

「生きもの調査隊（外来魚編）」は、今年で4回目の開催となりました。この講座では、油ヶ淵でブルーギルをねらって釣りをし、それを水族館に持ち帰り解剖します。

7月24日と8月10日の2日間行い、合計で38人に参加していただきました。初めて釣りをする子も多く、糸を絡ませてしまう子が続出しましたが、ブルーギルを中心とした多くの魚を釣ることができました。その様子を紹介します。



INFORMATION&NEWS

日時調査：7月24日（金）

10:00～11:30

調査場所：油ヶ淵（碧南市見合町）

天気：曇り

水温：26.0℃

エサ：ミミズ、オキアミ

釣れた魚：ブルーギル（25）

マハゼ（1）



※赤字は外来魚

（ ）の中の数字は釣れた尾数

釣り始めてすぐは全然釣れませんでした。エサの匂いに釣られて魚が寄ってきたのか、しばらくすると目的のブルーギルが釣れ出しました。オキアミよりミミズをつけたの方がよく釣れていました。エサのつけられない子、一人で糸を絡ませている子、隣同士で糸を絡ませている子、針で指を刺してしまう子など、ハプニングの連続でしたが最終的には26尾の魚を釣ることができました。



7月24日 調査隊メンバー

INFORMATION&NEWS

釣れないなあ。



やっと釣れたよっ！

針をのまれちゃった。



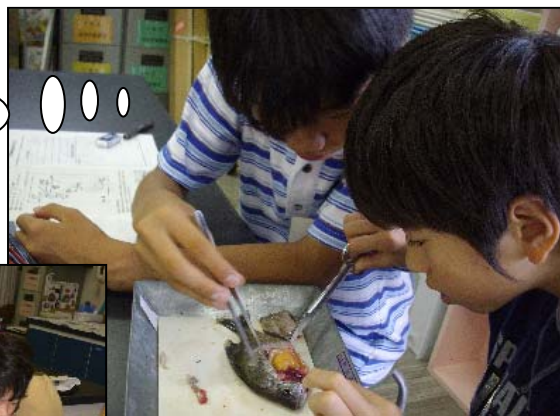
僕はハセが釣れたよ！



かたくてなかなか切れないよ～！



へえ～、こんな風になっているんだ！



今回、油ヶ淵で釣ったブルーギルの胃の中からは水草がたくさん出てきました。

INFORMATION&NEWS

日時調査：8月10日（月）  
10:00～11:30  
調査場所：油ヶ淵（安城市東端町）  
天気：曇り  
水温：27.3℃  
エサ：ミミズ、オキアミ  
釣れた魚：ボラ（14）  
ブルーギル（10）  
マハゼ（5）  
スゴモロコ（3）



※赤字は外来魚

（ ）の中の数字は釣れた尾数

前夜の大雨で油ヶ淵は増水しており、予定していた場所は水没していたため、急遽、対岸の安城市側で釣ることとなりました。水が濁っていたせいか普段はなかなか釣れないボラが多く釣れ、大きいものでは30cm近くありました。その他、マハゼやスゴモロコも釣れ、合計で4種32尾を釣ることができました。



8月10日 調査隊メンバー

INFORMATION&NEWS

僕のエサに食いついてえ！



まだ0匹・・・。

大きいボラが釣れたー！



ブルーギルだよ！



KATCHさんが取材にきました！

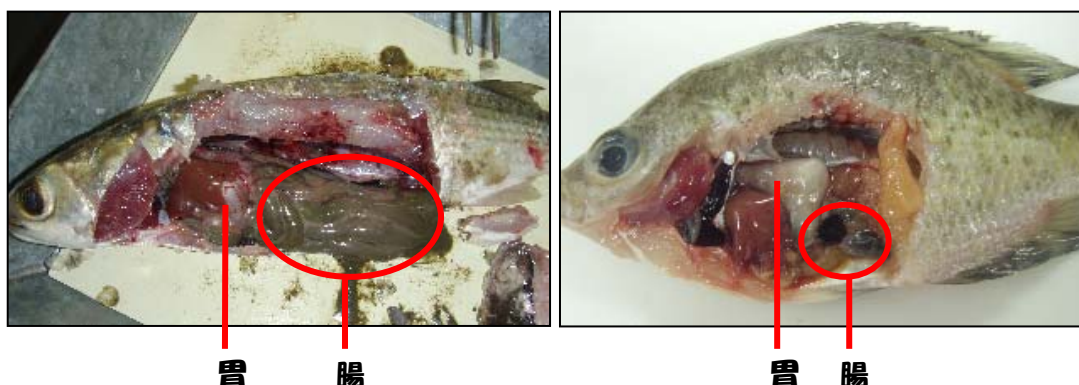
よしっ、やるぞー！



うまく描けないなあ。



### ボラとブルーギルの内臓の比較



珍しくボラが釣れたので、一部の子にはボラを解剖してもらいました。ボラの胃は筋肉が発達していて、そろばん玉を大きくしたような形をしています。また、腸がとても長いです。ボラは、水底の藻類や有機物を泥と一緒に食べるため、消化しやすいようにこのような特徴的な胃や腸を持っていると考えられています。

### WANTED !



ブルーギル *Lepomis macrochirus*

北アメリカ原産の淡水魚で、全長 20cm 以上に成長します。エラの一部が黒～紺色になっているのが特徴で“Bluegill（青い鰓）”の名もこれに由来します。現在では、日本各地の池や川に広く生息しています。雑食性であることから、ブラックバス以上に在来魚に対して深刻な影響を及ぼしていると言われています。2005 年 6 月に施行された「**外来生物法**」により特定外来生物に指定され、**生きたままの移動や飼育は禁止**されています。